

あゆち

愛知県図書館報

NO.11
2011.3

1945 ▶ 1989

特集 ● 昭和探訪

～戦後の昭和を調べる～

思い出の『昭和』、復興と成長の『昭和』、
—あの頃の『昭和』ってどんな時代？
歴史と現在の狭間にある『昭和』を特集します！

「昭和」ってどんな時代？

戦後の『昭和』は、まだ近い過去のため「歴史」として学ぶ機会も少なく、意外に知らないことが多い時代です。今号では『昭和』に関する資料や調べ方を紹介します。

●『昭和』～元号の由来 ●

「昭和」という元号は、「今まで国内外で元号やおくり名として用いられたことがないこと」「国家の理想を表すこと」「古典に出処し字面がよく意味の深いもの」などの条件のもとに決められました。その他の候補には「神化」「元化」などがありました。出典は儒教の五経のひとつ『尚書』(書経)の一節「百姓昭明、協和万邦」からとされています。

「昭和」を知る・調べる

●戦後・略年表●

- S.20 終戦 第一次ベビーブーム
- S.24 湯川秀樹ノーベル賞受賞
- S.28 テレビ放送開始 神武景気
- S.33 東京タワー完成
- S.34 レコード大賞はじまる
- S.39 東海道新幹線開通
- // 東京オリンピック開催
- S.40 名神高速道路開通 いざなぎ景気
- S.43 三億円事件
- S.44 アポロ11号月面着陸
- S.45 大阪万博開催
- S.48 石油ショック 第二次ベビーブーム
- S.51 ロッキード事件
- S.53 成田空港開港
- S.58 東京ディズニーランド開園
- S.60 日航ジャンボ機墜落事故
- S.63 東京ドームオープン
- S.64 昭和天皇崩御



平成へ…

事典で調べる ～基本的な情報を入手する

- 『戦後史大事典 1945-2004』(R210.76)[3F]
戦後の日本の政治や文化などあらゆるジャンルを3,300の項目で解説した事典。事項・人名索引付き。
- 『現代用語の基礎知識』(B813.7)[書庫]
基本的な事項からその時代のキーワードとなる新語や流行語まで収録した百科事典。毎年『新語・流行語大賞』を選定・発表している。昭和26年版より所蔵。

昭和がよくわかる本

- 『「昭和」を知る本』(R210.7)[3F]
①政治 ②社会 ③文化の3分冊。テーマごとに解説と参考図書リストが掲載されている。調べたい項目についてどんな本を読んだらいいか知りたい人におすすめ。



『「昭和」を知る本』全3巻
日外アソシエーツ(2006)

- 『昭和史 戦後篇』(210.7)[3F]
戦後の昭和史をわかりやすくまとめた通史。昭和史の流れを理解するのに便利。戦前・戦中篇もあり。



『昭和の時代』
伊藤正直、新田太郎/
監修 小学館(2005)

- 『昭和の時代』(H210.76)[3F]
たくさんの写真やデータが掲載されており、目で見てわかる昭和読本。昭和の家庭生活から金融・経済までわかりやすく解説。巻末にNHK大河ドラマ一覧などの資料集あり。

※書名の後の()内は分類番号
R=参考図書 H=大型本 B=書庫資料

「昭和」の出来事を調べる

新聞集成編年史

●『新聞集成昭和編年史』(B210.7)【書庫】

全国各地の主な新聞から主要記事を抜粋し、日付順に編集したものだ。巻末に事項索引があるので、事件名などから記事を探すことができる。2010年現在、昭和33年版まで刊行されている。



『新聞集成昭和編年史』明治大正昭和新聞研究会/編集制作
新聞資料出版

●昭和の出来事、事件などを調べるには、『新聞集成昭和編年史』のような時代ごとの新聞記事を時系列順に編集したものや、縮刷版やマイクロフィルムで当時の新聞そのものを見る方法があります。また、データベースで新聞記事や雑誌記事を検索することもできます。

●「昭和 二万日の全記録」(210.7)【3F】

昭和の記録を日録形式でわかりやすくまとめた本。人名・事項などから引ける索引あり。全19巻。

新聞記事データベース

2F・4F

各新聞社のデータベースでキーワードなどから新聞記事を探ることができます。

●聞蔵II(朝日新聞記事データベース)【2F】

収録範囲: 1926年～現在

●中日新聞記事データベース【2F】

収録範囲: 1987年4月～現在

●日経テレコン21(日経四紙ほか)【4F】

収録範囲: 1975年～現在

縮刷版・マイクロフィルム

2F

昔の新聞は縮刷版やマイクロフィルムで保存されています。見たい記事の日付がわかっている場合は、直接当時の紙面を見ることができるので便利です。マイクロフィルムは2階マイクロ閲覧室で閲覧できます。



マイクロフィルム

●雑誌記事索引 ～雑誌記事を探すなら

国立国会図書館が作成する雑誌記事のデータベース。様々な雑誌に掲載された文献を、論題に含まれる単語などから検索できる。インターネットで誰でも無料で利用可能。
→NDL-OPAC (<http://opac.ndl.go.jp/>)

「昭和」の人物を調べる

●『人物レファレンス事典』昭和<戦後>・平成編(R281.03)【3F】

日本史上の人物について、人名読みや生没年、職業、肩書、業績などのほか、その人物がどの事典に掲載されているかがわかる。

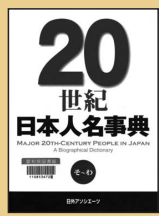
●『20世紀日本人名事典』(R281.03)【3F】

20世紀の100年間に活躍した日本人・在日外国人約3万人を収録した人名事典。昭和の著名人を多数収録。

★その他にも分野別の人名事典があります。

●『政治家人名事典 明治～昭和』(R310.33)【4F】

●『作家・小説家人名事典』(R910.26)【3F】



『20世紀日本人名事典』日外アソシエーツ/編 日外アソシエーツ(2004)

年鑑

●『読売年鑑』(R059.1)

【3F】(昭和25年版～現在) その年の動向を政治、経済、社会などの分野ごとに掲載した総合年鑑。統計データも充実している。別冊として『分野別人名録』(昭和55年～)がある。



『読売年鑑 昭和55年版』読売新聞社(1980)



昭和の経済・産業の流れ

戦後の日本では、先進諸国からの技術導入により、高品質の工業製品を大量生産することができるようになりました。それにより日本は急速な勢いで経済成長を続け、昭和40年代前半には、アメリカに次ぐ国民総生産（GNP）世界第2位の経済大国になりました。臨海地帯には製鉄所や石油化学コンビナートが次々と建ち並び、日本は重化学工業などの製造業を中心とした工業国として発展していきました。

昭和の経済・産業がわかる本



『物価の文化史事典』森永卓郎/著
展望社(2008)

- 「高度成長」(210.76)【3F】
終戦直後の経済後進国から経済大国になるまでの高度成長期の通史。
- 「戦後日本経済史」(332.1)【4F】
戦後の混乱期から高度成長を経てバブル崩壊、そして現在まで、日本の経済史を新しい歴史観で捉えた一冊。

『戦後日本経済史』
野口悠紀雄/著
新潮社(2008)



～各時代の物価がわかる本！

- 「物価の文化史事典：明治/大正/昭和/平成」(R337.82)【4F】
食品や衣料品などの日用品から、医療費や教育費、公共料金まで、さまざまな物の価格がわかる本。年次ごとの物価が一覧表形式で掲載されており、わかりやすく比較することができる。

物価

PICK UP!

交通(新幹線・高速道路・都市交通)



産業の発展と人口の増加により、都市内や都市間の輸送需要が高まってきました。昭和39年の東海道新幹線開通によって、高速大量輸送が可能となり、人々の行動範囲も大きく広がりました。また、名神・東名をはじめとする高速道路網の発達は活発な物流を支えました。名古屋では昭和32年に市営地下鉄が開業し、それまで都市交通の主役だった市電はやがて全廃され、新たな交通網が発展していきました。

- 「新幹線－高速大量輸送のしくみ－」(686.21)【4F】
主要都市間の移動時間を大幅に短縮し、大量輸送を可能とした新幹線の車両、安全性、正確なダイヤを維持するしくみなどを解説。
- 「名神高速道路」(DVD)【AV室】
日本初の長距離高速道路「名神高速道路」の建設工事の用地買収から完成までを克明に記録した映像。
- 「名古屋の市電と街並み」(A686)【3F・地域資料】
昭和49年に廃止された市電の路線、車両などを写真や豊富な資料とともに紹介。名古屋の路面電車の歴史がわかる。



『名古屋の市電と街並み』日本路面電車同好会名古屋支部/編著
トンボ出版(2010)

都市と住宅と核家族化

産業の発展とともに急激に人口が増えた都市部では、郊外に住宅地が次々と開発されていきました。昭和30年代に現れた「団地」と、そこに住む「核家族」は、高度成長期以降の昭和を象徴するものです。

- 「団地の子どもたち」(365.35)【4F】
昭和30年～40年代に団地に暮らす子どもたちを記録した写真集。
- 「団地の時代」(365.35)【4F】
高度成長期に憧れの存在だった「団地」について、政治学者と作家がさまざまなテーマで「団地とは何だったのか？」を対話した対談集。
- 「高蔵寺ニュータウン：20年の記録」(A518)【3F・地域資料】
高蔵寺ニュータウン開発事業完了までの20余年の記録。構想の段階から昭和50年代までの資料がまとめられている。



『団地の子どもたち』
照井啓太/編
洋泉社(2009)

公害問題



高度成長期に入ると、「四日市ぜんそく」、「イタイイタイ病」、「水俣病」などの公害病が各地で発生し、深刻化していきました。国は昭和42年7月に公害対策基本法を制定、昭和46年7月に環境庁（現在の環境省）を発足させました。

- 「公害白書 昭和44年～46年版」(B519.5)【書庫】
公害対策基本法に基づき国会に提出された報告書。当時の状況と国の施策がわかる。昭和46年に環境庁が発足した後は「環境白書」となる。
- 「20世紀の日本環境史」(519.21)【4F】
高度成長にともない発生した公害問題や、今日も続く環境問題など、日本の環境史をわかりやすくまとめたもの。
- 「環境史年表 昭和・平成編 1926-2000」(R519.21)【4F】
年代順にその年の環境問題が一覧できる年表。「食・健康」「生活一般」「自然科学」「開発・公害・社会」の4項目に分かれている。



『20世紀の日本環境史』石井邦宜/監修
産業環境管理協会
(2002)



地図を調べる

～昭和の地図も見られます！

当館では愛知県内の地形図や住宅地図などの各種地図を過去から現在のもので保存しています。3階には地域資料地図コーナーを設けています。

※館報「あゆち」7号(2008.10)「特集 地図を調べよう」もご覧ください。インターネットからもご覧いただけます。
<http://www.aichi-pref-library.jp/publish.html#ayuchi>

- 「日本図誌大系」
全12巻 (R291.08)【3F】
日本全国の主要地域の地形図が、明治から昭和40年代頃まで、年代順に並べて掲載されている。同一地域の変化を比較できる。

「昭和」の生活を見る

「昭和」の人々の暮らしはどのようなものだったのでしょうか？さまざまな資料から「昭和」の生活の様子を読み取ることができます。

● 数字で見る

- 『**家計調査年報**』(B365.4)【書庫】
世帯の収入・支出のほか各種食品や衣料品など細かい品目ごとの支出額もわかる。昭和29年版から所蔵。
- 『**国民生活白書**』(B365)【書庫】
当時の家庭生活の様子がわかる。様々な統計資料も掲載されている。

● 写真で見る

- 『**宮本常一が撮った昭和の情景**』
上・下巻(382.1)【4F】
民俗学者・宮本常一が撮った昭和の庶民生活の記録。
- 『**写真家寺西二郎の見た昭和**』
(748)【3F】
名古屋の日常風景を写した写真集。



『宮本常一が撮った昭和の情景』上巻
宮本常一/著
毎日新聞社(2009)

● 品物で見る

- 『**あこがれの家電時代**』(592.4)【4F】
『三種の神器』と言われた時代から昭和の終わりまでの家電の歴史をふんだんな写真とともに紹介。
- 『**国産はじめて物語**』(675.1)【4F】
国内初、世界初などの国産第一号の日本製品を紹介。開発の裏話などを掲載している。



『あこがれの家電時代』清水圭一/著
河出書房新社(2007)

● 流行で見る

- 『**新語・流行語大全 ことばの戦後史 1945→2005**』(R814.7)【3F】
時代が生んだ「新語・流行語」を収録。1984年から始まった「新語・流行語大賞」受賞語も掲載されている。
- 『**ACC CM年鑑**』(B674.9)【書庫】
CMフェスティバルの入賞作品を掲載。当時の流行を知ることができる。

● 食品で見る

- 『**近代日本食文化年表**』(R383.8)【4F】
幕末から昭和末までの食の歩みがわかる本。商品や外食店の初登場年なども掲載されている。
- 『**なつかしの給食**』(374.94)【4F】
昭和30～40年代の人気献立50品を紹介したもの。完全再生レシピ付き。続巻として、全国の献立表を紹介した『**なつかしの給食 献立表**』もある。



『なつかしの給食』アスペクト編集部/編
アスペクト(1997)

Pick Up!

『昭和の家事』(590.21)【4F】

明治生まれの女性が家事をする姿を撮影した記録映画を書籍化したもの。今では失われてしまった昔の家事技術と、その奥深さがわかる一冊。



『昭和の家事』
小林和子/著
河出書房新社(2010)

● コラム ● 学校給食 ～いま・むかし～

日本の給食は、明治22年山形県の私立小学校で、おにぎりとおかずを出したのが始まりだそうです。そして戦後間もなくの昭和21年、「学校給食実施の普及奨励について」という通達が出され、次第に全国に給食が広まります。愛知県でも昭和22年に9市で始まり、昭和27年には全域で実施されるようになりました。その後、メニューは多様化され、昭和41年にはソフトめん、昭和51年に米飯が導入されました。パンの種類も増えて、現在ではチーズロールパン、クロワッサンなど13種類もあるそうです。

「昭和」の文化(映画・音楽)



映画

●「映画年鑑」(B778)

【書庫】

映画に関する統計や封切リストなどを掲載。別冊で「映画館名簿」が付いている。昭和26年より所蔵。



『日本映画ポスター集』東映時代劇篇 佐藤隆/編 ワイズ出版(2000)

●「日本映画史」増補版

全4巻(778.21)【3F】

日本の映画史をまとめた本。2、3巻が戦後篇。4巻に年表や主要作品目録を収録。

●「日本映画ポスター集」(778.21)【3F】

昭和30年から40年代を中心に封切年月順にカラーポスターを掲載。東映時代劇篇、新東宝篇、大映映画篇などがある。

音楽



●「全音歌謡曲大全集」

(767.8)全9巻【3F】

譜面の他に歌詞、歌手名、作詞作曲者等を収録。昭和を中心に明治17年～平成13年までの歌謡曲3,948曲を収録。



『日本のうた大全集』長田暁二/編著 自由現代社(2005)

●「新版 日本流行歌史」

(767.8)全3巻【3F】

日本の流行歌の歴史がわかる本。巻末には年表もあり。歌詞には簡単な解説付き。

●「日本のうた大全集」(911.66)【3F】

童謡、わらべうたから歌謡曲まで、心に残る「日本のうた」の詩と解説を収録。



AV資料紹介

～懐かしい音楽や映像で「昭和」を聴いて・見てみよう！

CD

「懐かしのメロディー 昭和20年代のヒット曲集」(6点所蔵)レコード会社ごとの20年代ヒット曲集。

「昭和の流行歌」(19点所蔵) 昭和元年から33年までの流行歌を収録。

「ロッテ歌のアルバム」(8点所蔵) 昭和30年代後半～40年代の流行歌を中心に収録。

DVD

「僕たちの昭和 東海3県版」(全4巻) CBC保管の昭和30年～40年代の映像を中心に収録。

「昭和ニッポン 一億二千万人の映像」(全24巻) 昭和元年から平成元年まで、全国の映画館で上映されたニュース映画を収録。



◆OPAC(蔵書検索)でCDを検索するには、曲名は検索項目の「書名」に、歌手名は「著者」に入力します。

検索項目

書名	川の流れるように
著者	美空ひばり

検索値

※曲名か歌手名のどちらかのみで検索した方がヒットしやすくなります。

「昭和」がわかる！～近隣施設紹介～

～行って・見て「昭和」を体感しよう！

- 北名古屋市歴史民俗資料館(北名古屋市) 別名「昭和日常博物館」。昭和の日常生活に焦点をあてた全国でも珍しい博物館。名鉄犬山線「西春」駅より、きたバス「市役所東庁舎」下車すぐ。
- 瀬戸蔵ミュージアム(瀬戸市) せとものの大量生産で活気があった頃の瀬戸を再現した博物館。瀬戸焼と係わりの深い瀬戸電の展示もあり。名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅下車徒歩5分。
- トヨタ博物館(長久手町) 自動車の歴史がわかる博物館。トヨタ初の生産型乗用車など、昭和のクラシックカーを多数展示。リニモ「芸大通」駅下車徒歩5分。
- レトロでんしゃ館(日進市) 名古屋市営交通に関する昔懐かしい制服・徽章・路線図・乗車券の展示や、地下鉄や市電の車両等を展示。地下鉄鶴舞線「赤池」下車徒歩7分。

「昭和」に関するお問合せを紹介します

Q. 東京オリンピックの聖火リレーでの愛知県のルートとランナーが知りたい。



『東京オリンピック案内』から、名古屋に到着した日が昭和39年10月2日とわかります。ここから、『朝日新聞』昭和39年10月宣伝版や『中部日本新聞』10月1日、2日の市民版を見ると愛知県内のコースなどが載っています。また、『財団法人愛知県体育協会 60年史』に、愛知県内の第一走者、1日目の最終走者、2日目の第一走者と県内の最終走者の記述があります。

Q. 昭和40年頃のカラートレビの値段はいくらか知りたい。

『新・値段の明治大正昭和風俗史』には、昭和42年の16型カラートレビ受像機が15万9千円とあります。また、『物価にみる昭和の暮ら史』には、昭和40年カラー1台20万円（16型、19型、真空管）とあります。当時の大卒初任給が約2万3千円だったことを考えるとかなり高額です。なお、価格資料には『小売物価統計調査年報』がありますが、昭和40年頃はまだ白黒テレビだけを調査対象にしています。カラートレビが調査品目に加えられたのは、昭和44年からです。



Q. 昭和20年頃流行した「とんとんとんからりと隣組…」で始まる歌の題名と歌詞が知りたい。

題名がわからないので、『新版 日本流行歌史』の歌い出し索引で引いてみると、題名は「隣組」ということがわかり、同書に4番までの歌詞が掲載されています。昭和15年に隣組制度を浸透させるために作られた歌ですが、明るく楽しい曲調のため戦後も親しまれ、メロディーは『ドリフ大爆笑』のテーマ曲にも使われています。現在でもCMソングなどに利用されているようです。

- 開館時間 火～金 10時～20時（児童図書室・視覚障害者資料室は10時～18時）
土・日・祝日 10時～18時
 - 休館日 月・毎月第2木（その日が祝日（振替休日）に当たるときは開館、次の平日に休館）
年末年始（12月28日～1月4日）
館内整理のための休館（平成24年は2月23日～3月8日）
 - 交通案内 地下鉄 鶴舞線又は桜通線「丸の内」下車 8番出口から徒歩5分
市バス 幹名駅1系統・名駅14系統 「愛知県図書館」下車徒歩3分
- ※有料駐車場はありますが、台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
（最初の30分までは無料。以後30分ごとに100円。最高1,000円まで）

あゆち 第11号

平成23年3月20日発行

編集・発行 愛知県図書館

〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目9-3

電話 (052)212-2323(代表) / (052)212-3200(調査相談)

URL <http://www.aichi-pref-library.jp>

携帯サイトはこちら >>>

